

開講年次・時期	1年後期	授業回数	30回	時間数	60時間	必修・選択	選択必修	授業形態	講義	単位数	4単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	------	------	----	-----	-----

科目コード	NC220	科目名	介護過程Ⅱ	担当者名	芳賀砂智子(実務家教員)
授業の概要	・介護過程が個別ニーズを把握し、計画的に実践・評価していく科学的な問題解決方法であることを理解する。 ・介護過程の一連の展開方法を身につける。				
科目の到達目標	・知識と技術を統合し、介護過程を展開できる能力を身につける。 ・多職種協働と連携を理解する。				
DPの観点	⑥専門知識・技能(40) ⑦思考力(20) ⑨主体性(20) ⑩問題解決力(20)				
授業時間外学修 (予習・復習)	・テキストの習熟と専門用語を調べる。 ・予習・復習に関しては、それぞれ2時間程度の学習をすること。				
フィードバックの方法	コミュニケーションカードに疑問等を附してもらい、授業終わり、又は次の授業でフィードバックする。				
単位認定の要件	・授業内、決められた期日までの課題提出と、期末試験で合格基準を満たすことを単位認定要件とする。				
評価の方法・割合 (%)	・期末試験(60) 提出物等(20) 授業内活動(20)				
履修上の注意事項	介護福祉士資格取得必須科目 30分以上の遅刻は欠席とする。 遅刻3回で欠席1回とする。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			授業概要説明、介護過程・アセスメント用紙の振り返り	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
2			ICFの視点	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
3			アセスメント1用紙を理解する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
4			アセスメント2用紙を理解する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
5			問題解決型介護の考え方	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
6			目標思考的介護の考え方	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
7			「良くする介護」を行うためのアセスメント	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
8			利用者の生活を理解する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
9			アセスメント3用紙の書き方	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
10			アセスメント3用紙を理解する①:事例をもとに作成する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
11			アセスメント3用紙を理解する②:振り返り	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
12			記録法を理解する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
13			ICF「活動」について	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
14			「できる活動」「している活動」の違い	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
15			アセスメント:解釈・関連付け・統合化	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
16			不足情報を理解する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
17			ICF「活動制限」「参加制約」「阻害因子」	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
18			アセスメント4用紙の書き方	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
19			アセスメント4用紙を理解する:事例をもとに作成する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
20			アセスメント4用紙を理解する:振り返り	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
21			課題の分析・明確化から目標設定	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
22			アセスメント4用紙:事例をもとに目標を考える	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
23			アセスメント1用紙:事例をもとに作成する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
24			アセスメント2用紙:事例をもとに作成する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
25			アセスメント3用紙:事例をもとに作成する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
26			アセスメント4用紙:事例をもとに作成する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
27			社会資源の活用方法を理解する①	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
28			社会資源の活用方法を理解する②	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
29			チームアプローチと介護過程の展開方法	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
30			これまで学習した内容の振り返りを行う	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
期末試験			これまで学学習した内容の振り返りを行う。		

使用テキスト	最新・介護福祉士養成講座 第9巻「介護過程」 編集:介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規
参考文献 参考URL	「実習の手引き」青森明の星短期大学
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--